

8-4-41 品質委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

会員企業の品質確保・向上に資する活動を所掌する委員会として、設計エラーの実態把握、エラー防止に向けた品質確保・向上策の提案、会員企業の意識啓発、発注者への改善要望等を主な活動目的としている。

(2) エラー事例収集とデータベース化

照査特別 WG では、平成 12 年度から設計エラーの事例を収集しており、令和 6 年度までに 9 分野で 2,660 事例が集まっている。これらのエラー事例を検索できるデータベースを更新し、会員が利用できる資料として配布した。

また、収集したエラー事例について、生成 AI を用いた利活用に関する検討を開始した。

(3) 品質確保向上策の実態調査

国交省が推進している下記の品質確保向上施策の実施状況を会員企業へのアンケートにより調査するとともに、問題点・課題を整理した。

- ① 詳細設計照査要領
- ② 赤黄チェック
- ③ 照査技術者による照査報告
- ④ 業務スケジュール管理表
- ⑤ ワンデーレスポンス
- ⑥ 条件明示チェックシート
- ⑦ 合同現地調査
- ⑧ 3 者会議

(4) 品質確保向上策の改善検討

エラー事例から整理したエラーの発生要因と各種品質確保向上策の関係を整理するとともに、品質確保向上策の実効性を高めるための改善策を検討した。

(5) 品質向上推進ガイドライン活用ツールの更新

平成 23 年 7 月発行の品質向上推進 GL を見直して活動成果や収集したエラー事例を活用した GL 活用ツール作成し、これを加えた GL 改訂版を令和 4 年 9 月に発行しており、セミナー資料として配布した。また、追加されたエラー事例

を反映して活用ツールを更新し、次年度に協会ホームページに公開予定である。

(6) 会員企業の意識啓発

品質セミナーを開催し、会員企業の品質確保向上に対する意識向上を図った。

品質セミナーは集合形式からオンライン形式に変更して 5 回目となるが、参加者は全体で 2,204 名と前年度に比べて約 10%増加し、11 日間から 19 日間への開催期間延長と合わせて、講義内容および説明に関し高い評価を継続できた。

品質セミナー講義内容

	プログラム	
第 1 講	品質委員会の活動概要と契約不適合の発生状況	
第 2 講	品質の確保・向上に向けて「エラー再発防止への取り組み」	
第 3 講	エラー防止のために	道路／トンネル
		橋梁
		土質・地質
		港湾
		河川構造物
		砂防・急傾斜

(7) 発注者への要望と提案

上記活動成果については、常任委員会、技術部会、未来塾対応 WG で報告・審議するとともに、令和 6 年度「要望と提案」へ反映し、また令和 7 年度「要望と提案」の作成準備を進めている。

2. 次年度の活動

今年度と同様に品質セミナーの Web 開催を企画するが、参加者数の増加や満足度を高めるために、開催案内・周知やビデオ配信の工夫、講演内容の更なる充実を図る。品質講習会は今期開催できなかったが、従来と同様に 6 月とし企画・開催する。

また、エラーの実態を整理・分析したうえで、品質確保策の改善提案を継続するとともに、GL 活用ツールや条件明示チェックシートなどの利用を推進するとともに、エラー事例の利活用に関するサービス提供に向けた試行を行う。

(品質委員会委員長 藤木 明)